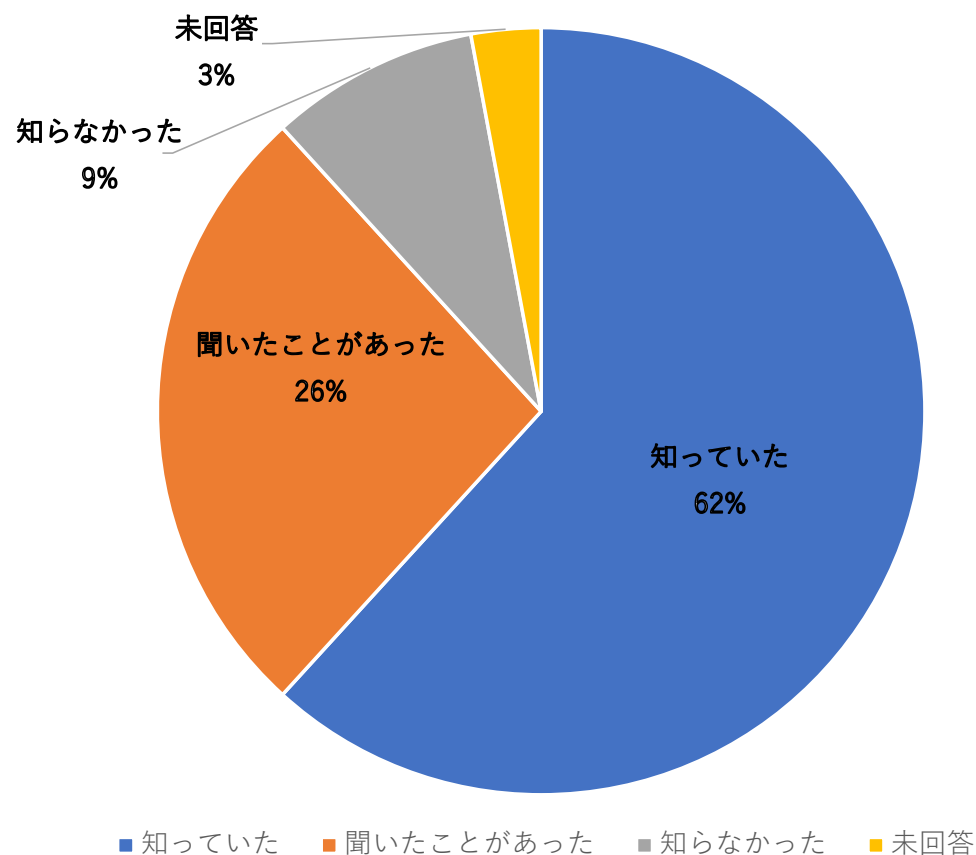


「女性の健康」アンケート集計結果について

- 講座実施日 : 令和6年12月5日(木)
講演 : 第4回企業向け人権啓発講座
働く女性の健康課題～誰もがいきいきと活躍できる職場を目指して～
対象者 : 京都市内の企業経営者、総務・人事責任者、人事研修推進者等
回収結果 : 34名(参加者34名)
目的 : 京都市内の企業が抱える課題の把握や今後の講座実施の参考にするため

参加者の約4割が男女それぞれに特有の健康課題があることについて知らない！

Q.1. 男女それぞれに特有の健康課題があることについてご存知でしたか。



参加者34名のうち半数が「知っていた」を選択された一方で、「聞いたことがあった・知らなかった等」の回答は約4割でした。

男女それぞれに特有の健康課題があることがまだ浸透していないことがわかりました。

また、以下のような課題を各企業やご自身で抱えられていることがわかりました。

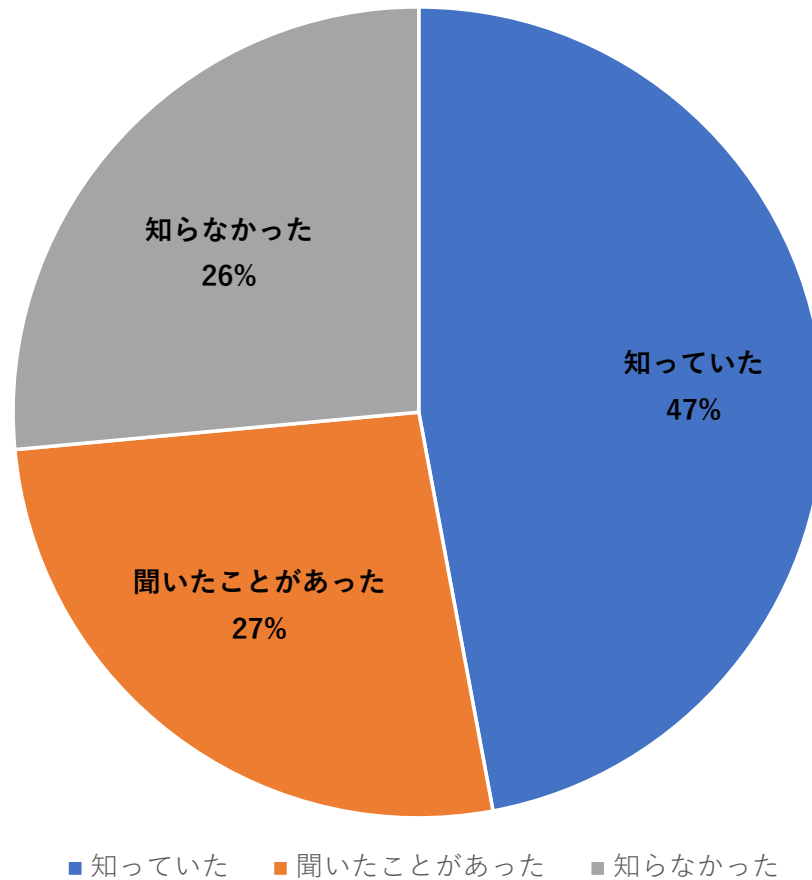
併せて、【現在抱えている課題】についても回答いただきました。

(経営者・人事責任者)

- 男性社員の女性の健康についての意識が薄い
- 課題が表面化しない
- 生理休暇制度はあるが利用する社員はいない (自分自身)
- 自分自身が更年期なのか、気分的なものかわからずモヤモヤしている、
- 生理休暇の取得方法がわからない、取得しづらい
- 不妊治療のための理解や休みがまったくくない
- 話題にしにくい

健康経営を知っている人は参加者の約半数！

Q2. 健康経営についてご存知でしたか。



約半数が「知っていた」という回答でした。

「健康経営」という言葉は浸透してきているものの、何をしたらよいのかわからない、取り組む場合は金銭的負担が必要なのではないか、という声がありました。

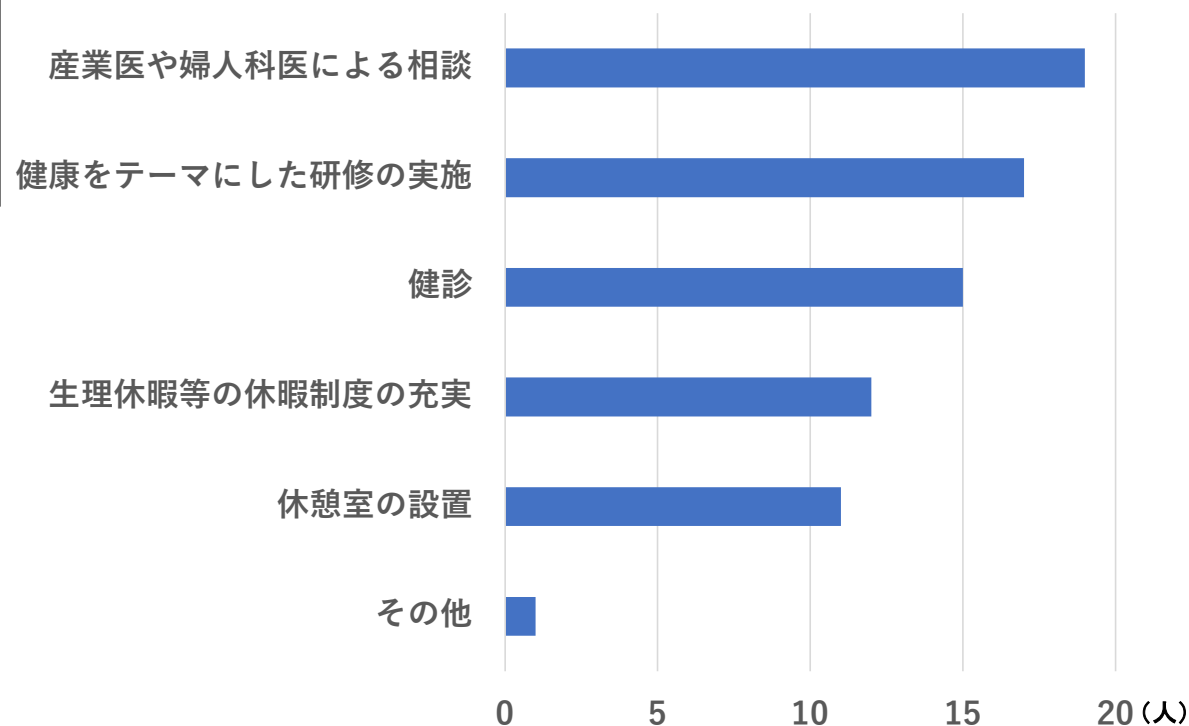
医師による相談窓口の設置や健康をテーマにした研修の実施が企業に求められている

Q3. 「女性の健康」について、企業で特にどのような取組や制度の充実があるといいと思いますか。
(複数回答可)

医師による相談窓口の設置や健康をテーマにした研修の実施が多くを占めました。

その他では「健康・体力作りの場」という意見もありました。

企業に求める女性の健康の取組や制度



健康課題の対処法（事例等）やメンタルヘルスの情報が求められている

Q4. 「女性の健康」について今後どういったことを知りたいですか。（複数回答可）

女性の健康について、今後知りたい情報

健康課題への対処法やメンタルヘルスに関する情報を知りたいと思われていることから、健康課題についてどのように取り組んでいけばよいのか、悩んでおられる企業が多いことがわかりました。

その他では「各課題への予防法や認識の方法、対策」という意見もありました。

